

## 考えて学ぶことの大切さ

5月に入り、風かおる新緑の季節となりました。校内のバラの花も咲き始め、ゴールデンウィーク明けには満開を迎えそうです。正門が色とりどりのバラの花で彩られるのが楽しみです。

新学期がスタートして1ヶ月がたちました。朝の登校時には、「おはよう」と声をかけると「おはようございます」と元気なあいさつが返ってきます。学校生活は、朝学活の読書活動に始まり、午前中の授業が終われば、給食の準備・片付け、午後の授業の後は、部活動など放課後の時間となります。クラスでは、委員や係、学級目標も決まり、本格的に学級活動が始まり、少しずつ、学校生活の基盤ができてきました。



4月14日（金）から始まった給食の準備・片付けも、少しずつペースがつかめてきたようです。給食時間は、準備に15分間、食事に15分間、片付けに5分間を目途にしています。特に1年生は最初の頃、準備や片付けに戸惑っていましたが、みんなで助け合いながら要領をつかみ、最近では給食を楽しむ余裕もうかがえます。給食指導は、担任の先生だけでなく、全教職員で関わっています。子どもたちが安心して給食を食べることができるよう、準備や食事中に気づいたことは、早急に連携し対応することに努めています。『給食だより4月号』にも掲載されていましたが、食物アレルギー対応等でご不安やご不明な点がありましたら、担任の先生または栄養教諭にご相談ください。

さて、学校の授業には『特別の教科 道徳』があります。なぜ、「特別の」とついているのでしょうか。それは、1単位時間の設定では到底到達することのできない人間としての在り方や生き方を追求することを目的とした「特別の学習時間」として設定されているからです。

『特別の教科 道徳』では、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解をもとに、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己あるいは人間としての生き方について考えを深める学習をとおして、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることを目標としています。

具体的には、さまざまな教材やコラムをとおして、自分自身、人との関わり、集団や社会との関わり、生命や自然、崇高なものとの関わりについて、みんなで考えたり、議論したり、これからの自分にどう生かすかを考えます。みんなで話し合う中で、それまで自分が考えもしなかったものの見方や感じ方、考え方に触れることができます。また、日常生活の中で気にもかけなかった友達の意外な物事の考え方や価値観に気づくこともあります。さらには、自信をもてないでいた自分と同じ考え方に触れて安心することもあると思います。『特別の教科 道徳』の授業で、しっかりと自分を見つめ、考えを深めることで心豊かに成長してくれることを期待しています。

最後になりましたが、先日のPTA委員総会では、本年度、PTAの各委員になられた保護者にお集まりいただき、4つの委員会（学級委員会、広報委員会、文化教養委員会、地区委員会）の委員長さん等を決めていただきました。一年間、PTA活動で大変お世話になりました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

校長 岡本 英明  
学校だより5月号より